

講義名	フランス語 / フランス語初級			授業形態	
担当教員	田村 弘行	開講期・曜日・時限	前期 木曜日 2時限		
		単位数	2	履修開始年次	2年生

主題と概要

入門フランスに続き、フランス語とはどのような言語か、その特徴を知り、フランス文化の一端を知る。フランス語の発音、アクセント、イントネーションの特徴などがわかるようになる。フランス語入門レベルよりも多くの表現ができるよう会話力を身につけることによって、「フランス人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育みます。さらに、フランス文化の特徴を知ること、日本との違いを知り、創造力（新しい視点と豊かな発想）を育むことを目指します。

到達目標

フランス語の初歩的な表現で下記のようなことが言えるようになる

- ・誰？何？いつ？どこ？どんなふうに？なぜ？などの質問ができるようになる
- ・依頼の表現ができるようになる
- ・選択の表現ができるようになる
- ・様々な買い物表現ができるようになる
- ・天候・時刻の表現ができるようになる
- ・複雑な否定表現ができるようになる

提出課題

授業時にその都度課題を与えます。文書あるいはmoodle上での問題解答、課題もあります。

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバックの方法

頻繁に、moodleの小テストを実施し、正答・誤答・正解をPC上で確認できます。それ以外のテストに関しても採点し返却し、解説します。

評価の基準

毎回の授業でmoodleなどの小テスト50%
中間・期末テスト50パーセント
これらを総合して評価

履修にあたっての注意・助言他

- ・この科目を受講する学生には、入門フランス語あるいはフランス語 の単位取得者と同等の能力があることを要求します。
- ・進捗は積み重ねなので、できる限り欠席しないこと。3分の1以上の欠席で不合格になります。
- ・欠席した場合はmoodleを必ずチェックし、次回までの宿題をしなくてはなりません。また次回の小テスト準備をすること。
- ・授業で学習したことを授業外でも遊びでよいから使ってみよう、私と会った時にフランス語で挨拶してみてもいいだろう。
- ・NHKの語学講座・フランス映画・フレンチグッズなどを積極的に視聴すること。

教科書

.使用しない。					
---------	--	--	--	--	--

参考図書

その他

授業時に適宜プリント配布

授業計画

- 1 入門フランス語復習 教室で使うフランス語
- 2 指示形容詞
- 3 否定文
- 4 マルシェにて、買い物表現
- 5 否定文2 買い物表現2
- 6 3種類の疑問文
- 7 疑問形容詞、スーパーでの表現
- 8 時間の表現
- 9 疑問代名詞 誰が、何が、誰を、何を / 許可の表現
- 10 第2群疑問動詞
- 11 様々な形容詞
- 12 所有形容詞
- 13 前置詞と冠詞の縮約
- 14 ネットでのフランス語
- 15 まとめ、期末テスト準備

授業形態（アクティブ・ラーニング）

ア：PBL（課題解決型学習）	イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）
ウ：ディスカッション、ディベート	エ：グループワーク
オ：プレゼンテーション	○ カ：実習、フィールドワーク
ク：その他（A L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）	

準備学習（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

moodleを用いて授業をします。授業の終わりに宿題等を指示します。

- ・配布した教材（Wordデータ、PowerPointデータおよび音声データなど）を利用して、内容を理解、記憶し復習
- ・1.5時間程度
- ・何度も問題を繰り返し返し、次回の小テストの準備をすること。・・・1時間程度
- ・次回進む箇所を辞書などを用いて予習・・・1.5時間程度

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連

フランス語を用いて「人と円滑なコミュニケーションをとることができる」資質・能力を育みます。またフランス文化の特徴を知ること、日本との違いを知り、創造力（新しい視点と豊かな発想）を持った人材の育成を目指します。

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述

moodleというシステムを使用し、PCまたは携帯で、授業の予習、発音のチェック、語彙や動詞活用を覚える、テストの準備などの活動を行います。欠席した場合は、その日の授業内容を確認できます。メール、moodleなどを利用して、疑問点などを質問できます。

実務経験の有無及び活用

--	--	--	--	--	--

備考

--	--	--	--	--	--